

児 童 の 様 子 秘

			作成日	平成 年 月 日		
			作成担当者			
ふりがな 氏名		性別	男 女	生年月日	平成 年 月 日生	
在籍校	立 小学校	保護者名				
障がいの 状 況	医師の診断	(有 無)				
	医療機関名	()				
	診 断 名	() 診断日 (平成 年 月)				
	服薬の有無	(有 無) 薬の種類 ()				
諸検査の 結 果	検 査 名					
	実 施 日	平成 年 月 日 (検査時の年齢 : 歳 月)				
	検査の結果					
	検 査 名					
	実 施 日	平成 年 月 日 (検査時の年齢 : 歳 月)				
	検査の結果					
相談機関 等での相 談 歴	相談機関名	相談日 (平成 年 月)				
	相 談 者					
	相談の内容					
	相談機関名	相談日 (平成 年 月)				
	相 談 者					
	相談の内容					
手帳所持	種別と判定	名称 () 判定 () 判定日 (平成 年 月)				
進学にあ たり要望 すること	本人・保護 者から	----- ----- ----- -----				
	担任・学校 から	----- ----- ----- -----				

児童の全体的な姿	
得意なこと や興味があること	
身体の状況	
生活習慣	
学 習 面	
運 動 面	
対人関係	

困難な状態に対する支援			
場面	課 題	支 援	現在の様子
生活面			
学習面			
対人関係			

『連携シート』記入要領

【記入にあたって】

- この『連携シート』は、行動面や学習面、対人関係で困難な状況が見られる児童に関する理解を図り、中学校においても適切な支援が継続できることを意図して作成するものです。伝達が必要な内容を、できるだけ詳細に記入してください。
- 診断名や検査結果などの個人情報を本シートに記載することになりますので、作成後は、保護者に記載内容を確認していただいてから中学校へ渡してください。
- 小学校入学前に『幼稚園版連携シート』を幼稚園から提示され、小学校で保管している場合は、保護者の承諾を得て本シートとともに中学校へ渡してください。
なお、幼児期に医師の診断を受けたり、諸検査、相談機関等での相談を行ったりしている場合は、本シートには小学校在籍期間の相談歴等を記入してください。

【作成日】 …本シートが完成した年月日を記入します。

【作成担当者】 …本シートの記入を担当した教師名を記入します。記入を複数名で分担した場合は、とりまとめをした教師名を記入します。

【氏名】【性別】 …氏名欄は、漢字にふりがなを付けます。性別欄は、○で囲みます。

【生年月日】 …児童の生年月日を記入します。

【在籍校】 …卒業する小学校名を記入します。なお、本シート作成後に転校をした場合は、シート作成時点で在籍していた小学校名を記入します。
また、特別支援学級等に在籍している場合は、（情緒障がい特別支援学級在籍）（LD・ADHD通級指導学級在籍）などと記入します。

【保護者名】 …保護者の氏名を記入します。

【障がいの状況】

- 医師の診断…診断の有無を○で囲みます。
- 医療機関名…診断を受けた場合は、その機関の名称を記入します。
- 診断名…診断書に記載された診断名を記入します。
- 服薬の有無…服薬の有無を○で囲み、服薬している場合は薬の種類を記入します。

【諸検査の結果】

- 検査名…実施した検査の名称を記入します。
- 実施日…検査を実施した年月日、検査実施時の児童の年齢を記入します。
- 検査の結果…検査結果の数値を記入します。
※複数の検査を実施した場合は、それぞれ記入します。また、同種類の検査を複数回実施した場合も、各回ごとに記入します。

【相談機関等での相談歴】

- 相談機関名…教育相談を行った機関の名称、相談した年・月を記入します。
特別支援学校で実施している専門家チーム会議で相談を行った場合は、「専門家チーム会議（□□養護学校）」と記入します。

- 相談者…相談機関等を訪問した人を、「本人」「母」などと記入します。
 - 相談の内容…主に相談した内容を記入します。各種検査の実施を依頼した場合は、「WISC-Ⅲ知能検査の実施」などと記入します。
- ※複数の機関で相談を行った場合は、それぞれ記入します。

【手帳所持】 …手帳を取得している場合は、〈名称〉〈判定〉〈判定日〉を記入します。

【進学にあたり要望すること】

…中学校進学にあたって、児童や保護者、担任等が希望していることや中学校に対してお願いしたいことを記入します。

- 本人・保護者から …児童本人・保護者の希望やお願いしたいことを、シート作成者が代弁して記入することになります。日頃のやりとりの中から把握していることでもよいですし、場合によっては中学校へお願いしたいことをあらためて聞き取ることも必要です。
なお、保護者の願いについては、児童に対することと中学校へお願いしたいことの両面が予想されます。
- 担任・学校から …保護者の願いと同様に、児童に対する期待と中学校へお願いしたいことの両面から記入しましょう。

【児童の全体的な姿】

…中学校の先生方が、児童の全体像を把握するために記入する欄です。
特筆すべきこと、とても気になることの両面から伝達の必要がある内容を検討して記入しましょう。

【困難な状態に対する支援】

…この欄が、進学する児童がよりスムーズに中学校生活をスタートできるように必要な情報を詳細に示すものとなります。中学校の先生方は、この欄の記載内容を手がかりとして支援方法を検討します。

小学校での生活面や学習面、対人関係において、どのような点を課題とした支援をしてきたのか、具体的な方法はどのようなものか、卒業を目前に控えた時点ではどのような様子かといったことを、できるだけ詳細に記入しましょう。

※子どもの困難な状況に応じて、〈生活面〉〈学習面〉〈対人関係〉のスペースを調整してください。

※〈支援〉の欄は、使用している教具などの写真を添付しても構いません。

※〈現在の様子〉の欄は、小学校における支援で課題が解決したのか、変容があまり見られず中学校においても継続した支援が必要であるのかを明確にすることが必要です。